

エピソード

砂場に掘った穴に水を流し、「海になってきたよ」と水がたまる様子を楽しんでいた子ども達。「こんなにいっぱいになったよ」と水に顔を近づけて見ると「泡がある!」と驚いて声をあげました。近くにいた A ちゃんと B ちゃんが「なに?」と頭を寄せて見ると、砂場にたまった水の表面に茶色の泡が浮いていました。A ちゃん「本当だ。泡だね」と見ていると、友達がさらに水を流し、その勢いによって泡が押し流されていきました。「泡が動いた!」「捕まえよう」と手のひらですくいます。手の上に泡が乗ると嬉しそうに見ていました。保育者が「泡ってつかめるんだね」と言うと、「うん。やわらかくてフワフワしてる」「茶色やな」と話していると、A ちゃんが「これは白やで」と手に持っているものを見せました。A ちゃんは石鹼と水で泡をつくり、ペットボトルに入れて持ち歩いていました。保育者が「そうだね。砂場の泡は茶色で、A ちゃんの泡は白色だね」と言うと、A ちゃんはニヤッと笑い、「これも入れちゃおう!」とペットボトルに入っていた泡を水の中に入れ始めました。「わあー! 白と茶色になった!」と色の違いを感じた後、「まぜまぜー!」と言いながら水に入れた手を左右に動かして、泡が混ざり合うことの面白さを感じていました。

子どもの育ちや学び

泡を捕まえよう
(興味・魅力的)

フワフワしてる
(感触を味わう
・面白い)



石鹼の泡も
入れちゃおう!
(やってみたい・
試す・興味)



白と茶色に
なった!(気付き)

まぜまぜー!
(面白さ)

- ・砂場に水を入れると表面に茶色の泡ができることに気付く。
- ・友達の話聞いて興味をもち、自分も遊びに加わろうとする。
- ・茶色の泡を魅力的に感じ、目で追ったり、手ですくったりする。
- ・砂場でできた泡と、石鹼でつくった泡を比べて色の違いを感じたり、混ざり合う様子を見たりする。

保育者の思い

- ・水の表面に泡ができていることに気付き、面白さや不思議さを感じている姿に共感しました。
- ・水の勢いで押し流される泡を見て思わず手をのばしてすくおうとする姿を見守り、その後どうするのかな?と子ども達の姿を見守りました。「茶色やな」と「これは白色」と話す姿があったので、色に興味をもっていることに気付きました。子ども達が思ったことを言葉にして周りの子ども達にも伝えました。
- ・自分でつくったせっけんの泡をためらいなく、砂場に流し込む姿に驚きましたが、ニヤッと笑う表情から「いいこと考えた」と思っているのかな?と A ちゃんの気持ちを読み取りました。

家庭だったら・・・

気温が高くなるにつれ、水を使って遊ぶ姿が増えてきました。水の冷たさや心地よさを味わいながら、水の動きの面白さや水と砂が混ざり合う中での不思議さを感じる姿が見られるようになってきました。夏になり、より身近に水が感じられるようになりました。水の面白さや不思議さを一緒に感じてみてください。